

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

— 評価の観点 —
 思・判：社会的な思考・判断
 技・表：資料活用の技能・表現
 知・理：社会的事象についての知識・理解

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)		
地理的分野 (1)ア	1	(1)	主な国の位置と正距方位図法の特徴を理解している。	技・表 知・理	80.0	31.1	
		(2)	三大洋の名称を指摘している。	知・理	85.0	76.9	
		(3)	①	時差をもとに経度を求めることができる。	技・表	50.0	53.6
			②	時差をもとにバンクーバーの時間を計算できる。	思・判 技・表	45.0	24.5
地理的分野 (2)ア	2	(1)	2つの地形図を比較して、そこに示された地域の様子を読み取ることができる。	思・判 技・表	65.0	59.3	
		(2)	縮尺を手がかりに、地形図上の長さから実際の距離を求めることができる。	技・表 知・理	45.0	36.8	
地理的分野 (1)イ	3	(1)	地図から、北方領土の位置を理解している。	技・表 知・理	60.0	58.1	
		(2)	地図を手がかりに、日本とその隣国の首都の位置や特徴をとらえることができる。	思・判 知・理	50.0	46.8	
		(3)	資料をもとに、石川県を指摘できる。	思・判 知・理	70.0	71.2	
地理的分野 (2)イ	4	(1)	資料から、青森県の農業の地域的特色を読み取ることができる。	思・判 技・表	35.0	49.0	
		(2)	資料をもとに、グラフを書くことができる。	思・判 技・表	50.0	30.4	
地理的分野 (2)ウ	5	(1)	資料から、東南アジア諸国の輸出入について、情報を読み取ることができる。	思・判 技・表	50.0	55.3	
		(2)	資料を比較し、貿易相手国の変化を多角的に読み取ることができる。	思・判 技・表	50.0	63.7	
歴史的分野 (1)ア	6	(1)	日本の時代区分の順序をそれぞれの時代に関連のある人物を通して理解している。	知・理	75.0	47.1	
		(2)	それぞれの時代の代表的な文化的作品を指摘できる。	思・判 知・理	60.0	51.3	
歴史的分野 (2)ア	7	(1)	資料から、縄文時代の遺跡の名称を理解している。	知・理	80.0	61.6	
		(2)	縄文時代の貝塚の内容を理解している。	知・理	75.0	88.5	
		(3)	資料から、土偶がつくられた理由を理解している。	知・理	60.0	85.9	
歴史的分野 (2)イ	8	(1)	前方後円墳を理解している。	知・理	80.0	87.8	
(2)		聖徳太子が行った政治改革の内容を理解している。	知・理	60.0	59.7		
(3)		奈良から平安にかけての庶民の生活の様子を資料から読み取り、まとめることができる。	思・判 技・表	50.0	66.0		
歴史的分野 (3)ア	9	(1)	資料から、鎌倉時代の武士の法律の名称を指摘できる。	知・理	55.0	62.3	
歴史的分野 (3)イ		(2)	鎌倉時代から安土桃山時代までの産業の様子を理解している。	知・理	50.0	46.7	
歴史的分野 (4)イ		(3)	資料から、室町時代に流行した墨一色で描かれる絵画の総称を指摘できる。	知・理	60.0	89.2	
		(4)	資料から、織田信長の行った政策を、指摘できる。	知・理	65.0	60.3	
		(5)	豊臣秀吉が行った刀狩令の目的を、簡単に説明できる。	思・判 技・表	70.0	60.9	
歴史的分野 (4)オ	10	(1)	①	江戸時代の流れから、江戸幕府の徳川吉宗の改革の内容を理解している。	思・判 知・理	50.0	60.8
			②	江戸時代の流れから、江戸幕府の松平定信の改革の内容を理解している。	思・判 知・理	50.0	46.9
			③	江戸時代の流れから、江戸幕府の水野忠邦の改革の内容を理解している。	思・判 知・理	50.0	50.4
		(2)	江戸時代の流れから、江戸幕府の改革の背景を指摘できる。	思・判 知・理	55.0	35.0	

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内					
			青森市	東郡	五所川原市	つがる市	西・北郡				
1	(1)	主な国の位置と正距方位図法の特徴	80.0	36.8	37.0	34.1	27.2	25.8	21.3	32.0	
	(2)	三大洋の名称	85.0	81.2	81.0	83.2	73.9	72.0	67.5	79.8	
	(3)	①	時差をもとに経度を求める	50.0	57.8	58.1	53.8	53.9	54.7	49.4	55.8
		②	バンクーバーの時間の計算	45.0	29.4	29.5	28.9	23.2	24.5	21.6	22.7
2	(1)	2つの地形図から地域の様子の読取	65.0	61.1	60.9	63.6	59.5	62.4	52.7	60.6	
	(2)	地形図上の長さから実際の距離を求める	45.0	42.1	42.3	38.2	36.2	40.4	31.7	34.3	
3	(1)	北方領土の位置	60.0	60.4	60.7	55.5	54.7	54.5	53.6	55.5	
	(2)	日本の隣国の首都の位置とその特徴	50.0	51.0	51.7	39.9	46.3	45.1	46.4	47.4	
	(3)	石川県の指摘	70.0	73.1	72.8	77.5	66.6	64.9	60.7	71.8	
4	(1)	青森県の農業の地域的特色の読取	35.0	51.3	51.2	53.2	48.4	51.2	44.4	47.9	
	(2)	農業算出構成割合のグラフを書く	50.0	33.2	33.1	34.1	26.8	28.7	21.3	28.2	
5	(1)	東南アジア諸国の輸出入の情報の読取	50.0	56.9	56.8	58.4	56.2	55.9	52.4	58.8	
	(2)	貿易相手国の変化の読取	50.0	67.1	67.6	59.0	63.9	67.3	61.2	62.0	
6	(1)	日本の各時代に関連した人物	75.0	50.6	50.6	50.3	45.0	44.5	47.0	44.4	
	(2)	各時代の代表的な文化作品の指摘	60.0	54.5	54.5	53.8	48.7	51.7	48.2	45.8	
7	(1)	縄文時代の遺跡の名称	80.0	69.9	70.0	68.8	61.6	57.6	66.6	62.9	
	(2)	貝塚の内容	75.0	89.9	89.9	89.6	87.1	91.1	80.5	86.8	
	(3)	土偶が作られた理由	60.0	86.3	86.2	88.4	86.8	87.2	85.8	86.8	
8	(1)	前方後円墳の名称	80.0	89.3	88.8	96.5	86.5	85.6	87.0	87.1	
	(2)	聖徳太子の政治改革の内容	60.0	62.9	63.2	58.4	55.8	58.7	56.8	52.1	
	(3)	奈良時代から平安時代までの庶民の生活の様子	50.0	69.2	69.5	64.2	62.8	59.6	62.4	66.4	
9	(1)	鎌倉時代の武士の法律の名称	55.0	67.7	68.0	63.0	60.3	62.2	58.3	59.3	
	(2)	鎌倉時代から安土桃山時代までの産業の様子	50.0	51.0	50.7	56.6	42.3	44.8	40.8	40.5	
	(3)	室町時代の墨一色で描かれた絵画	60.0	89.4	89.3	91.9	88.3	89.8	86.4	87.9	
	(4)	織田信長が行った政策	65.0	65.0	64.9	67.1	48.7	54.0	41.4	47.5	
	(5)	豊臣秀吉が行った刀狩令の目的の説明	70.0	62.9	63.0	60.7	58.1	61.4	49.7	59.5	
10	(1)	①	徳川吉宗の改革の内容	50.0	64.2	64.2	64.2	60.6	59.7	59.5	62.1
		②	松平定信の改革の内容	50.0	48.5	48.9	42.2	47.1	44.0	48.5	49.5
		③	水野忠邦の改革の内容	50.0	53.7	54.3	44.5	49.9	46.8	50.6	52.8
	(2)	江戸幕府の改革の背景	55.0	36.6	36.6	35.8	30.6	30.9	27.8	32.0	
教 科 全 体			59.3	60.5	60.6	59.2	55.2	55.9	52.7	56.0	

(単位：%)

中 南 管 内					上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内			県全体
弘前市	黒石市	平川市	中・南郡		十和田市	三沢市	上北郡		むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡		
29.2	32.6	15.6	26.6	31.4	28.2	30.8	30.2	25.2	23.9	23.7	24.8	32.9	33.8	29.8	31.1
75.6	78.4	66.1	76.6	73.1	73.2	75.9	73.3	70.9	71.8	72.0	70.8	79.3	80.5	75.2	76.9
49.5	53.3	39.2	40.1	52.7	51.3	52.0	50.7	51.0	48.5	49.9	42.9	55.7	56.6	52.4	53.6
22.0	24.2	14.0	22.1	21.0	22.3	27.2	21.3	19.0	19.5	20.4	16.1	25.1	26.1	21.9	24.5
58.4	59.6	52.2	59.6	59.0	57.0	59.1	59.1	54.2	57.6	57.3	58.4	60.1	60.9	57.6	59.3
30.9	32.8	15.1	40.4	30.8	37.0	42.8	35.3	33.4	34.4	34.3	34.8	37.5	38.0	36.1	36.8
59.6	60.1	56.7	58.3	61.4	55.1	60.1	48.2	54.7	46.5	45.3	50.9	61.4	62.0	59.4	58.1
43.0	44.3	38.7	42.9	41.9	42.6	46.1	41.3	40.5	43.1	41.9	47.8	49.8	50.2	48.5	46.8
68.9	69.4	65.3	72.1	67.4	69.2	71.4	67.3	68.4	71.4	71.1	72.7	74.7	76.2	69.5	71.2
51.1	51.3	52.2	56.4	43.7	46.8	49.6	46.0	44.9	42.2	43.8	36.0	48.6	49.7	44.7	49.0
29.7	31.3	19.4	33.0	31.1	27.9	31.6	30.0	23.8	27.1	27.0	27.3	32.8	33.6	30.0	30.4
54.7	54.0	51.3	62.2	55.1	54.9	55.5	56.0	53.9	55.5	56.6	51.6	54.2	54.6	52.7	55.3
61.4	64.1	54.3	57.7	60.2	63.3	66.5	64.0	60.4	57.9	58.9	54.0	64.2	64.9	61.7	63.7
46.1	44.2	44.9	46.5	55.4	47.2	50.4	51.1	42.6	46.0	47.1	41.6	45.8	45.3	47.2	47.1
47.7	47.5	42.5	50.3	51.5	50.9	52.5	51.6	49.4	50.2	49.2	54.0	53.1	52.6	55.1	51.3
55.4	57.1	49.2	57.7	52.4	59.9	62.3	62.9	56.4	57.6	58.9	52.2	60.8	61.0	60.2	61.6
87.7	86.6	82.5	92.6	94.0	83.5	84.7	84.7	81.9	86.1	86.1	86.3	92.3	93.1	89.6	88.5
86.9	87.4	85.2	88.8	84.7	78.8	81.8	82.2	74.7	82.7	83.1	81.4	89.8	90.4	87.7	85.9
84.5	84.8	78.5	88.8	86.2	85.7	85.7	90.9	83.0	85.8	86.6	82.6	91.5	91.5	91.5	87.8
58.2	57.5	50.3	64.1	65.0	59.9	63.7	66.0	53.7	60.7	62.9	52.2	59.4	59.8	58.1	59.7
62.5	59.9	59.7	75.6	64.7	66.9	76.2	66.4	59.7	57.7	56.6	62.1	68.9	69.8	66.2	66.0
59.7	59.0	50.5	64.7	68.3	58.4	65.3	60.2	52.1	60.6	59.4	65.2	63.4	65.6	55.9	62.3
46.6	46.9	43.3	46.8	48.5	42.6	45.8	46.4	38.2	43.3	43.1	44.1	48.2	48.9	45.9	46.7
90.1	90.7	88.7	92.9	86.2	89.5	91.9	90.0	87.2	81.7	81.6	82.0	90.6	91.1	88.6	89.2
57.0	54.9	56.2	72.1	53.6	58.8	65.6	52.0	57.0	60.7	62.4	54.0	65.0	65.4	63.8	60.3
57.5	57.6	45.7	71.5	57.2	55.8	59.4	58.7	51.4	59.0	58.5	60.9	66.8	69.4	58.3	60.9
56.8	57.6	47.3	61.2	59.9	61.2	64.2	56.4	61.2	57.5	58.4	53.7	61.6	61.9	60.5	60.8
45.2	46.4	42.2	46.2	41.9	46.2	45.7	45.1	47.1	47.9	48.4	45.6	47.2	48.0	44.4	46.9
49.9	49.8	50.0	51.6	48.8	48.8	51.2	47.6	47.7	51.2	52.7	44.1	49.0	50.0	45.9	50.4
33.7	34.7	30.4	29.2	37.4	33.1	35.5	34.0	30.7	33.6	34.0	31.6	38.2	39.3	34.8	35.0
55.3	55.9	49.6	58.3	56.1	55.2	58.3	55.6	52.5	54.1	54.4	52.9	58.9	59.7	56.4	57.3

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各内容・領域の 通過率(%)	設定通過率 (%)
世界と日本の 地域構成	7	1(2)、3(3)	1(1)、1(3)②、 3(2)	51.7	62.9
地域の規模に 応じた調査	6	5(2)	2(2)、4(1)、 4(2)	49.1	49.2
歴史の流れと 地域の歴史	2		6(1)	49.2	67.5
古代までの 日本	6	7(1)、7(2)、 7(3)、8(1)、 8(3)		74.9	67.5
中世の日本	3	9(1)、9(3)	9(2)	66.1	55.0
近世の日本	6		10(1)②、10(2)	52.4	56.7

内容・領域別にみると、県の平均通過率と比較して通過率が高かったのは、「古代までの日本」、「中世の日本」である。同程度だったのは、「近世の日本」であり、通過率が低かったのは、「世界と日本の地域構成」、「地域の規模に応じた調査」、「歴史の流れと地域の歴史」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは、「古代までの日本」、「中世の日本」である。同程度だったのは、「地域の規模に応じた調査」、「近世の日本」であり、下回ったのは、「世界と日本の地域構成」、「歴史の流れと地域の歴史」である。

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(13問)	通過率の低かった 問題(18問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
社会的な 思考・判断	15	3(3)、5(2)、 8(3)	1(3)②、3(2)、 4(1)、4(2)、 10(1)②、10(2)	51.4	53.3
資料活用の 技能・表現	12	5(2)、8(3)	1(1)、1(3)②、 2(2)、4(1)、 4(2)	49.1	54.2
社会的事象 についての 知識・理解	21	1(2)、3(3)、 7(1)、7(2)、 7(3)、8(1)、 9(1)、9(3)	1(1)、2(2)、 3(2)、6(1)、 9(2)、10(1)②、 10(2)	59.7	62.6

観点別にみると、県の平均通過率と比較して、同程度だったのは、「社会的事象についての知識・理解」であり、通過率が低かったのは、「社会的な思考・判断」、「資料活用の技能・表現」である。

設定通過率と比較すると、同程度だったのは、「社会的な思考・判断」、「社会的事象についての知識・理解」であり、下回ったのは、「資料活用の技能・表現」である。

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率(%)	主な誤答(無答を含む)例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)	
1	(1)①	31.1	80.0	ドイツ(28.5)、ノルウェー(17.5)、その他(14.5)、無答(3.0)
1	(3)②	24.5	45.0	午前3時(15.0)、午前9時(13.0)、その他(43.0)、 無答(7.5)
4	(2)	30.4	50.0	野菜20・果実27(8.0)、野菜22・果実25(4.5)、 その他(31.0)、無答(26.5)
6	(1)	47.1	75.0	イ(26.5)、ウ(9.0)、エ(9.0)、その他(1.5)、無答(0.5)
7	(1)	61.6	80.0	吉野ヶ里遺跡(31.0)、岩宿遺跡、(4.5)、登呂遺跡(2.5)
10	(2)	35.0	55.0	ア(36.5)、ウ(15.0)、イ(11.5)、無答(2.5)

- 1(1)①について
誤答の原因として、様々な地図を活用したヨーロッパの国々の位置関係の理解が不十分であることが考えられる。
- 1(3)②について
誤答の原因として、時差を導くための段階的な理解が不十分であることが考えられる。
- 4(2)について
誤答の原因として、野菜または果実の割合の求め方やグラフのかき方等が定着されていないことや、社会科副読本が十分活用されていないことも考えられる。
- 6(1)について
誤答の原因として、各時代とその時代を代表する人物との関連が理解されていないことが考えられる。
- 7(1)について
誤答の原因として、資料が縄文土器と土偶であることと、三内丸山遺跡が縄文時代の遺跡であることについての理解が不十分であることが考えられる。三内丸山遺跡は、青森県を代表する縄文時代の遺跡なので、授業を通して定着を図る必要がある。
- 10(2)について
誤答の原因として、江戸時代の三つの改革の頃の社会の様子についての理解が不十分だと考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題として、地理的分野では、「世界と日本の地域構成」における「ア世界の地域構成」の時差の定着が挙げられる。

今後の学習指導においては、地球を大観させ、地球規模での位置関係をとらえさせるために、
◆緯度や経度、本初子午線、日付変更線などの取り決めについて、歴史的背景に触れながら、生徒の興味・関心を引き出す指導を工夫する。

◆日付変更線等を活用した西暦の始まりの理解と地球儀や様々な世界地図を効果的に活用する。

◆情報や輸入品などから、我が国と外国との話題を取り上げ、世界と関連付ける指導を工夫する。
 などが考えられる。

指導例

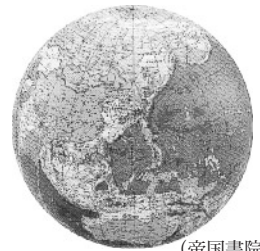
1. 指導のねらい

- (1) 地球儀や世界地図を活用して、球体である地球上の位置を正しくとらえさせる。
- (2) 地球の自転に触れ、各国や各地域の標準時や時差が生じることを実感させる。
- (3) 時差の計算を通して、日本と世界の位置関係を理解させる。

2. 具体的な指導内容

(1) 地球の形について

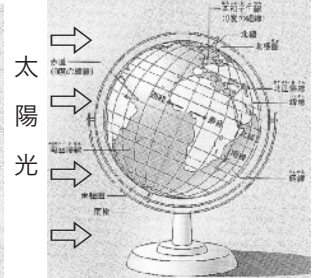
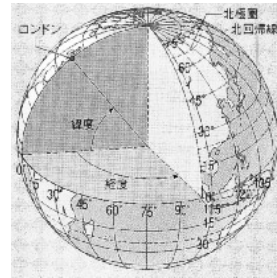
宇宙から見た地球の写真・地球儀・地球展開図などを活用し、角度を変えながら世界の中での位置関係を理解させ、日付の始まりに触れる。



(帝国書院)

(2) 地球の自転について

- ① 地球が西から東へ1回転(360度)するには24時間かかることから、経度の差が時差になることを理解させる。
- ② 地球儀に光をあてて、日付が変わること、昼夜のつき方を理解させる。
- ③ 地球の自転に触れながら経度の差(時差)を説明する。



(東京書籍)

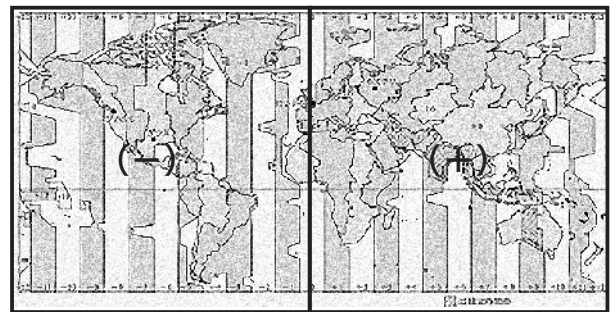
時差 = 「Aと同じ位置(経度)にBの位置(経度)がくるまで」の角度差(時間差)

(3) 世界の時刻(時差)の理解について

- ① 地球儀を活用しながら、等時帯の本初子午線・日付変更線に触れ、時差の理解を広げていく。
- ② 時刻の表し方の換算方法を練習する。

【例】午後(PM)9時 ↔ 21時

- ③ 時差の計算については、上の(2)の考えと併用しながら、図のように「正の数と負の数の計算を利用した地図」を活用し、標準時の基準となる経線を表す際に、東経の場合は+、西経の場合は-の符号を使って、下の式にあてはめて、繰り返し練習する。



西経を(-) 0° 東経を(+)

(東京書籍)

$$\{(\text{求める地点の標準時の経度}) - (\text{基準となる地点の標準時の経度})\} \div 15 \text{度}$$

また、歴史的分野における課題としては、「近世の日本」における「エ 幕府の政治改革」での各改革の特色をとらえさせるための指導の工夫と基礎的・基本的な内容の定着が挙げられる。

今後の学習指導においては、享保、田沼、寛政、天保のそれぞれの改革名等や改革者名とその結果等を整理し、江戸幕府が次第に行き詰まりを見せていくことを理解させることが必要である。

さらに、新学習指導要領では(4)近世の日本 エの内容の取り扱いでは、

エ エの「幕府の政治改革」については、百姓一揆などに結び付く農村の変化や商業の発達などへの対応という観点から、代表的な事例を取り上げるようにすること。

とあり、財政の悪化などの背景や、改革の結果に着目させる、とある。

具体的指導例として、江戸の三つの改革と田沼の政治について、授業のまとめとして、以下のように表に整理することが考えられる。

【江戸の三大改革と田沼の政治のまとめ】(写真資料：大阪書籍)

改革名	享保(きょうほう)の改革	田沼(たぬま)の政治	寛政(かんせい)の改革	天保(てんぼう)の改革
改革者	8代将軍 徳川 吉宗 (とくがわ よしむね) 	老中 田沼 意次 (たぬま おきつぐ) 	老中 松平 定信 (まつだいら さだのぶ) 	老中 水野 忠邦 (みずの ただくに) 
時代	1716年～1745年(約30年間)	1767年～1786年(約20年間)	1787年～1793年(約6年間)	1841年～1843年(約2年間)
目的	幕府財政の立て直し(農業中心)	幕府財政の立て直し(商業中心)	幕府財政の立て直し(農業中心)	幕府財政の立て直し(農業中心)
内容	<ul style="list-style-type: none"> 質素・儉約、武芸奨励 新田開発や年貢率引き上げ 上げ米の制 公事方御定書 	<ul style="list-style-type: none"> 新田開発 株仲間の奨励 長崎貿易の奨励 銅の専売制度や海産物の輸出 	<ul style="list-style-type: none"> 質素・儉約、武芸奨励 旗本や御家人の借金帳消し 農村に倉を建て米を備蓄 朱子学以外の学問を禁止 農民を故郷に帰す 	<ul style="list-style-type: none"> 質素・儉約 株仲間の解散 江戸、大阪周辺の農村を幕府の直轄地とする 農民の出稼ぎを禁止
影響	<ul style="list-style-type: none"> 百姓一揆や打ちこわしの増加 財政が一旦立ち直る 寛政の改革や天保の改革の手本となる 	<ul style="list-style-type: none"> 百姓一揆や打ちこわしの増加 わいろの横行 浅間山噴火、天明の飢饉 経済活動と学問や芸術の発展 	<ul style="list-style-type: none"> 厳しい儉約や思想の統制 借金帳消しへの民衆の不満 ロシアが貿易要求 沿岸警備を固める 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸、大阪周辺の大名や旗本の反対 厳しい儉約令と出版や風俗の取り締まり
同時期の出来事		1774 杉田玄白「解体新書」 1782 天明の大飢饉	1792 ロシア使節ラクスマンが根室に来航 1798 本居宣長「古事記伝」	1837 大塩平八郎の乱 1839 蛮社の獄で渡辺華山、高野長英らが処罰
諸外国の動き		1775 アメリカ独立戦争 1776 アメリカ独立宣言	1789 フランス革命 フランス人権宣言	1840 アヘン戦争 1842 南京条約

評価の観点別にみた課題として、「社会的な思考・判断」については、社会的事象に対する関心を高めさせるとともに、学習課題に対し多面的・多角的にとらえる能力の伸長が挙げられる。今後の学習指導においては、課題解決のために有効な事実や資料等を提示し、まず個人で読み取った予想をもとに、グループ等による話し合い活動や練り合いを通し、さらに思考を整理させるなどの段階に応じた場面を設定していくことが大切である。

「資料活用の技能・表現」の課題としては、統計資料の読み取りや読図を通して社会的事象の認識ができるよう、基礎的・基本的な技能を身に付けさせ、また、さらに読み取ったことからまとめ発表する力を育成することが挙げられる。今後の学習指導においては、地図や地球儀、写真や統計資料等の情報を読み取ったり、活用する場の設定をして、系統的に学習できる工夫をしたり、社会的事象を解釈、説明、論述するなどの言語活動の充実を図ったりすることが大切である。

「社会的事象についての知識・理解」の課題としては、各観点との関連を図り、身に付けた知識や概念をその後の学習や生活に活用できるようにすることが挙げられる。今後の学習指導においては、作業的、体験的な活動を学習過程の中に位置付け、習得した知識や技能を活用したり、自己決定の場を設けたりする授業の展開を行うことが大切である。

個々の問題の誤答傾向から見た課題として、地理的分野においては、世界地図(正距方位図法)や地形図、統計資料等の読み取りからグラフを書くことなどの活用能力の伸長が挙げられる。今後の学習指導においては、普段の授業からいろいろな世界地図を活用し、面積や人口、日本との関わり、ニュースに取り上げられる国等、様々な視点から世界をとらえさせることが

必要である。また、気候や土地利用などの主題図を活用、比較するなどの作業的な活動を取り入れた授業を展開することが大切である。

歴史的分野においては、各時代の生活や文化等の特色を理解させ、歴史の大きな流れをとらえる活動を充実させることが挙げられる。今後の学習指導においては、各時代の人々の生活や文化、貿易や政治のしくみ等に着目させ、他の時代との相違点や共通点を明らかにし、それらに関連付けて理解させることが大切である。

設定通過率との比較からみた課題としては、資料からの読み取りと基礎的・基本的な内容の定着が挙げられる。設定通過率を20ポイント以上下回った小問が4問ある。

- ① 正距方位図法の地図を見てバンクーバーから一番遠い国を問う問題
- ② 時差をもとにバンクーバーの時間を計算する問題
- ③ 時代区分したそれぞれの時代に関連した人物を問う問題
- ④ 江戸幕府の三つの改革の時代の背景を問う問題

であり、設定通過率が45～80%であるのに対して、通過率は24.5～35.0%であった。

①は、分析の結果から、様々な地図を活用したヨーロッパの国々の位置関係の理解が不十分であり、②は、出発時刻に直行便の所要時間を単純に加減したことが考えられ、時差を導くための段階的な理解が不十分であることが考えられる。③は、フビライが鎌倉時代、雪舟が室町時代に関係の深い人物であることの理解が不十分であることが考えられる。④は江戸時代の三つの改革の頃の時代の背景を問う基礎的な問題であるが、その時代の特色をとらえる思考・判断や知識・理解が十分に定着していないことが考えられる。今後の学習指導において、地理的分野では、世界の主な国々の名称と位置を様々な地図等を用いて習得させたり（学習指導要領では、世界の4分の1から3分の1程度の国々の名称と位置を身に付けることが一応の目安となるとある。）、繰り返し確認して知識の定着を図るなど、計画的に指導する必要がある。また、歴史的分野では、各時代の生活や文化等の特色を理解させるとともに、資料から他の時代との相違点や共通点を挙げさせるなどの指導の工夫が必要である。

キ まとめ

内容・領域別では、県の平均通過率及び設定通過率と比較して、歴史的分野の「古代までの日本」、「中世の日本」が良好である。一方、地理的分野の「世界と日本の地域構成」、歴史的分野の「歴史の流れと地域の歴史」の問題で不十分な点がみられる。また、評価の観点別では、「資料活用の技能・表現」において、設定通過率を5ポイント下回った。特に、社会的事象の認識を深化できるような統計資料の読み取りや読図などの技能を身に付けさせ、また、読み取ったことからまとめ、発表する力を育成することが必要である。さらに、小問ごとに見ると、歴史的分野において、昨年同様、江戸時代の三つの改革に関係する人物とその内容についての把握ができていない点がみられた。

今後の指導においては、基礎的・基本的内容となる知識や技能の定着を図るとともに、地図や地球儀、写真や統計資料等の情報を読み取ったり、活用する場の設定をして、系統的に学習できる工夫をしたり、社会的事象を解釈、説明、論述したりするなどの言語活動の充実が求められる。また、作業的、体験的な活動を学習過程の中に位置付け、習得した知識や技能を活用し、自己決定の場を設けたり、他教科や他分野との関連を図るような授業の展開を工夫することも大切である。